

サピックス
eco
クラブ

エコ -Eco Mystery- ミステリー



エコロジ探偵

「エコ」に関することをたくさん知っているよ



スクワール助手

好奇心旺盛で「エコ」に関するいろいろなミステリーを見つけてくるよ

ミステリーファイル③ / ごみ拾いがスポーツになる



*イラストはイメージです

探偵手帳

海洋ごみ

海岸に打ち上げられた「漂着ごみ」、海に漂っている「漂流ごみ」、海の底に沈んだ「海底ごみ」をまとめて海洋ごみという。海洋ごみの7~8割は、街(陸)から海へたどり着いたものである。特に問題とされているのはプラスチックごみで、海洋ごみの65%以上を占めている。このままだと2050年には、海にいる魚より、ごみのほうが多くなってしまうのではないかといわれている。



分別事情

分別とは、燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみなどを分けて捨てること。ごみは種類によって、処理やリサイクルの方法が異なるため分別が必要である。また、日本は住んでいる場所や建物によってそれぞれ分別方法が決められている。徳島県上勝町では、なんと45種類もの分別が実施されている。

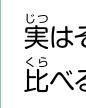


エコロジ探偵、大変です！ごみを拾うと世界チャンピオンになれるそうです！一体どういうことでしょう？

まあ、落ち着きなさい。それは「スポーツGOMI」という2008年に日本で生まれたスポーツですね。2023年11月には、「スポーツGOMIワールドカップ2023」が開催され、21か国が参加しました



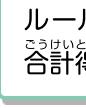
ごみ拾いとスポーツ…不思議な大会です。ごみをたくさん拾った人が勝ちなのでしょうか？



実はそうでもないのです。拾った量だけを比べると体力比べの勝負になってしまいますがね



謎が深まります…！どうやって勝ち負けを決めるのでしょうか



ルールを見てみましょう。前半・後半の合計得点の高いチームが勝ちです

ルール

- ・1チーム3人
- ・走らない
- ・乗り物に乗らない
- ・交通ルールを守る

制限時間（前半・後半）

ごみ拾い：45分
分 別：20分

得点

可燃ごみ (100g)	10点
不燃ごみ (100g)	10点
びん・缶 (100g)	12点
ペットボトル (100g)	25点
たばこの吸いがら (100g)	150点
粗大ごみ	-100点
分別ミス	-100点

※スポーツGOMIワールドカップ2023決勝大会でのルールです。
大会によりルールは異なります。

このほかにも、拾ってはいけない場所や物、先頭と最後尾のメンバーが10m以上離れてはいけないなどのルールが決められています。審判もいて、違反がないかチェックしていますよ



分別をして得点になるのですね。子どもでも拾いやすいたばこの吸いがらの得点が高いので、誰にでも優勝のチャンスがありそうです。ところで、何点で優勝できるんでしょう…？



イギリスのチームは、83.7kgのごみを拾い、9048.1点で優勝しました。大会全体では、なんと548kgものごみが集まったのですよ



わあ…すごい！ぼくも参加したくなっています！



スポーツが加わることで参加してみたくなりますね。普通のごみ拾いは60代以上が参加者の半数を占めますが、スポーツGOMIは10～30代が70%を占めるという調査結果（※）もあり、幅広い年齢層の人がごみ拾いを行うきっかけとなっているのです



※環境科学会誌28巻3号230-240頁「清掃活動とスポーツの組み合わせがボランティア募集に与える影響」（森保文ほか、2015年発行）



拾う人は多いほうがいいですもんね！海洋ごみは毎年800万tも増えていて、大勢で拾ってもなかなかなりませんから…

参加者が増えれば、ごみについて考える人も増え、捨てられる量も減っていくでしょう



ごみがなくなって、大会が開催できなくななる未来が本当のゴールですね

